

GREETING ごあいさつ

写真展「波濤を越えて」は1987年、横浜の地で産声(うぶこえ)をあげてより、たくさんの方々に支えられ、本年度30回という節目を迎える事が出来ました。そして、国内通算1600会場にてミニ写真展を、また、海外では、アジア、北南米、欧州、アフリカ等、世界21カ国・地域で開催してまいりました。さらに、国際海事機関(IMO)や世界各地の海事大学等の船員教育機関と交流を続けています。



展示されている写真は、船乗りが日々眼にする地球の鼓動、悠久の海や空の表情、世界の街角や人々との出会い、心の交流と感動を素直にカメラに収めたものです。私たちは「海は世界を分断するものではなく、世界を繋(つな)ぐもの」と考えます。私たちが感じた海の大切さ、自然の素晴らしさ、世界の人々との心の触れ合いを、一人でも多くの方に共有していただければ幸甚(こうじん)です。



じゃあまたね (フィリピン/カガヤンデオロ)

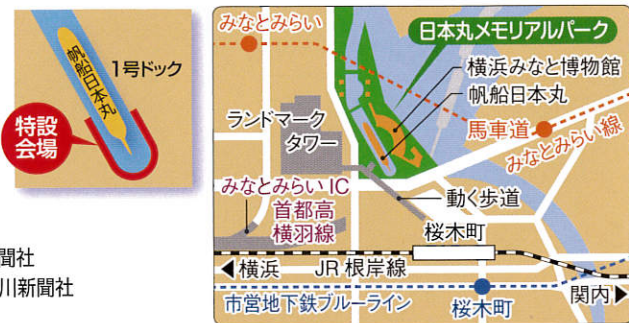


ただいま建造中 (インドネシア/バタン)

第30回 写真展「波濤を越えて」実行委員会

主催/
第30回 写真展
「波濤を越えて」実行委員会

後援/
横浜市教育委員会
(公財) 帆船日本丸記念財団
(公財) 日本海事広報協会
全日本海員組合
(一社) 海洋会
(一社) 全日本船員協会
(一社) 日本船長協会 日本海事新聞社
(一社) 日本船舶機関士協会 神奈川新聞社
tvk(テレビ神奈川) (順不同)



【交通案内】

電車 ● JR根岸線、横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町駅」下車 徒歩5分
● みなとみらい線「みなとみらい駅」「馬車道駅」下車 徒歩5分
車 ● 首都高速横羽線「みなとみらい出口」から約0.5km
※ 駐車場はありませんので、周辺の有料駐車場をご利用ください。

写真展の会場はパーク内の1号ドック。帆船日本丸の前方を取り囲むように作品を展示。抜けるような青空と潮風が心地よい。

※帆船日本丸・横浜みなと博物館をご利用の際は入館料が必要です。
※雨天時は展示を中止することがあります。
期間中のお問い合わせは 080-4183-3022 まで。

EXHIBIT BEYOND THE HORIZON 2017 30th anniversary

七つの海をわたる 船乗りたちが撮らえた 世界の海・街・人々

入場無料



出発 (太平洋赤道付近)

第30回 写真展 はとうこ 波濤を越えて

日本丸メモリアルパーク [特設会場] 10.6~10.9 *期間中無休 [月・祝]

Nippon Maru Memorial Park 10:00a.m.~5:00p.m. 最終日は4:00p.m.まで

所在地/〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1



魔法の飛行船 (小笠原諸島 南島)

大空からの贈りもの (北太平洋)



珍客の訪船 (関門港)



いざ大西洋へ (パナマ運河)



情熱の夕陽 (太平洋)

ツインポート (オーストラリア/グラッドストーン)

波濤を越えて 2017(長崎沖)



MESSAGES 第30回 記念写真展に寄せて



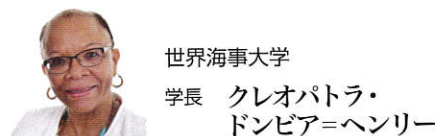
国立大学法人
東京海洋大学
学長 竹内俊郎

30回目となる写真展「波濤を越えて」が、帆船日本丸メモリアルパークにて開催されますことを心からお祝い申し上げます。

船乗りの皆さんが、普段目にしていない海・船・港、そしてそれを取り巻く風景をカメラに収めて、帆船日本丸の船首を囲むように展示している光景もまた、絵になっていると思います。今年は、昨年の氷川丸に続き、帆船日本丸が国の重要文化財に指定されたことも、今回の第30回写真展に花を添えてきています。

この写真展は、船乗りの皆さんの日々の仕事、あるいは生活の中から映し出されたもので、視点が従来の写真展とは異なっていることで、「はっ」とさせられる構図や被写体が満載です。今年も多くのお年寄りから若者、さらにはお子様にご覧いただければと思います。本学でも、写真展の作品の一部を学生食堂に展示し、未来の船乗りを目指す学生諸君に見てもらっています。

この写真展を通して、グローバルに海の仕事をし、生活している船乗りの皆さんの活躍を感じていただければ幸いです。30年一つの節目として、更なる発展を祈念いたします。



世界海事大学
学長 クレオパトラ・ドンピアア=ヘンリー

第30回の記念すべき写真展『波濤を越えて』の開催、心よりお祝い申し上げます。

世界海事大学は、国際海事機関(IMO)によって設立された大学院大学です。2006年、同写真展は初めて本学でも開催され、2011年以降は、施設内で常時20点の写真が展示されています。現在は、図書室に展示され、毎年、新しい写真を設置いただいております。これらは、世界中の海で働く船員の人生と職務への30年に亘る献身的な努力の積み重ねでもあります。

彼らの撮影した雄大な数々の写真は、我が大学に学ぶ多くの学生・教職員、そして大学を訪れるご来賓を大いに楽しませてくれております。私どもは、世界を相手に働く船員達の生き様を表現し、私たちの幸福に寄与するこの写真展が、今後とも、更に発展し続ける事を強く願ってやみません。



EXHIBIT BEYOND THE HORIZON



琥珀色の朝 (アメリカ/オーストリア)

憩いの空間 (チリ/サン・アントニオ港)

砂漠を行く (エジプト/スエズ運河)

Worldwide Exhibitions "Beyond the Horizon"

